

鈴ヶ峰キリスト福音館
聖書研究会 考察
2025/8/15 (金)

ルカの福音書 8 章

キリストのこころ——すなわち、憐れみ・赦し・愛(いずれも同質のもの)についての実際を神の御国の基礎として、終末におけるその本質の顕れが、この世界に、また私たちの交わりに実現することこそキリストの栄光の現れであることを踏まえて、ルカ 8:16-18 の灯火の喩えを丁寧に捉えたい。

この黙想は、ルカ 8 章の灯火の喩えを通して、キリストのこころと終末の整えを見つめるものです。

灯火の喩え (ルカ 8:16-18)

— キリストの憐れみの光を宿す者として —

「誰も、灯火をともして、それを器の下や寝台の下に置く者はいない。むしろ、燭台の上に置く。入って来る人々に光が見えるためである。隠れているもので、現されないものではなく、秘められているもので、知られずに済むものはない。だから、どう聞くかに注意しなさい。持っている者はさらに与えられ、持っていない者は、持っていると思っているものまでも取り上げられる。」

1. 灯火とは何か — キリストの憐れみの光

この灯火は、単なる「信仰の証し」でのみ表現されるものではありません。それは、キリストの憐れみの光——赦し・愛・憐れみの同質の輝きです。

神の言葉が聴くものの心に宿り、その者が受けとり
それが赦しとして、愛として、憐れみとして現れるとき、
それは灯火となって、周囲を照らす。

この光は、隠すことができないキリストの栄光の本質です。それはキリストを「証しなさい」という命令ではなく、宿した者に現れる輝きです。

2. 燭台に置くとは — 憐れみを実際に現すこと

「燭台の上に置く。入って来る人々に光が見えるためである」

燭台に置くとは、憐れみの光を、実際の赦しとして現すことです。

傷つき倒れた者に癒しを与える
弱い者に寄り添う
敵を愛し赦す

これらは、憐れみの光が燭台に置かれた姿です。それは、言葉ではなく、言葉が実際となった生き方としての証しです。

3. 光が現れるとき、すべてが明らかになる

「隠れているもので、現されないものはなく…」

この言葉は、終末における本質の顕れを語っています。キリストの臨在が満ちるとき、

憐れみ(愛)を宿す者は、さらに憐れみ(愛)によって整えられ、
憐れみ(愛)を拒む者は、その拒絶のままに定められる。

これは、黙示録 22:11 の言葉を覚えるものとなります。

「聖なる者はなおも聖なる者とされよ、汚れた者はなおも汚れよ」

灯火の喩えは、終末においてすべてがその本質に従って整えられることの予告です。

4. どう聞くかに注意しなさい — 憐れみに開かれた心

「持っている者はさらに与えられ、持っていない者は、持っていると思っているものまでも取り上げられる」

この言葉は、憐れみに開かれた心のありようについて語っています。

憐れみを受け取り、宿す者は、さらに整えられ、光が増す
憐れみを拒み、赦しを持っていると思っているだけの者は、光を失う

これは、マタイ 18 章の「1 万タラントの負債を赦された下僕が、100 デナリを赦さなかった」例えと重なります。憐れみを受けた者が、それを他者に現さないなら、その光は取り上げられるのです。

5. 花嫁の整えとしての灯火

黙示録 19 章では、花嫁が「輝く清い麻布」を着ることが許されます。それは「聖徒たちの正しい行い」——つまり、憐れみの実際です。

灯火を燭台に置くとは、花嫁として整えられる者の姿。それは、赦し・愛・憐れみを宿し、終末において「さらに与えられる」者となることです。

ともしびのこの喩えは、「キリストの証しを保て」という表層の教訓ではなく、キリストのこころ——憐れみの光を宿し、燭台に置く者として整えられることへの招きです。

この憐れみの光は、まず私たちを赦しと愛の実際へと導き、その歩みの中で、私たちの本質が終末において明らかにされ、そして最終的には、花嫁として整えられ、主の栄光の中に立つ者とされるのです。

憐れみの実際としての赦しと愛は、灯火の光の顕れであり、
それが終末において本質として顕れ、
その光の輝きに生きる者が、花嫁として整えられる。

この光を宿す者は、「持っている者はさらに与えられる」者として、キリストの臨在の中で輝きを増していきます。

この喩えは、花嫁として整えられる者のあるべき道——憐れみの光に生きる者が、キリストの臨在の中で、栄光から栄光へと変えられていく道筋を描いています。

この理解は、天の御国の完成を待ち望む中でキリストのみ言葉を聞き方に注意してとらえる視座によるものです。

終末において、主の御声を聞く人の心に、キリストの愛の証が灯るように、整えられる私たちの間にあって、キリストを証する言葉が憐れみの実際として響くものとなるように。